

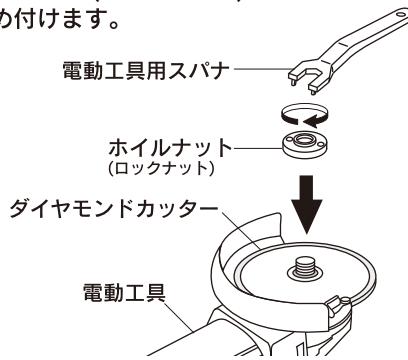


ダイヤモンドカッター

取扱説明書

取付方法

③電動工具のロックピンを押え、スピンドルが動かないように固定してから、ホイルナット(ロックナット)をはめ、「電動工具用スパナ」でしっかりと締め付けます。



ご使用の前に

*文中で(※)についている語句は、裏面の用語集をご参照ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(損害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。

警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意」を表します。



指定した場所に触れないでください。



必ず実行していただく「強制」を表します。



してはいけない「禁止」を表します。



電源プラグをコンセントから抜いてください。



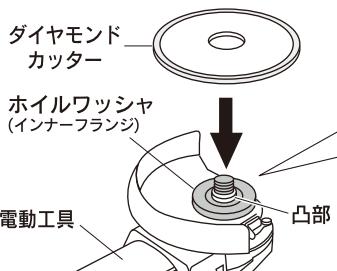
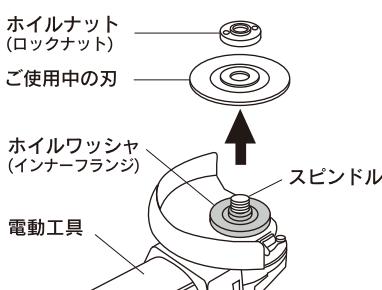
高温に注意してください。

取付方法

①電動工具のスピンドルを上に向け、ホイルナット(ロックナット)とご使用中の刃を取りはずします。

*ホイルワッシャ(インナーフランジ)は電動工具に取り付けたままにしておきます。

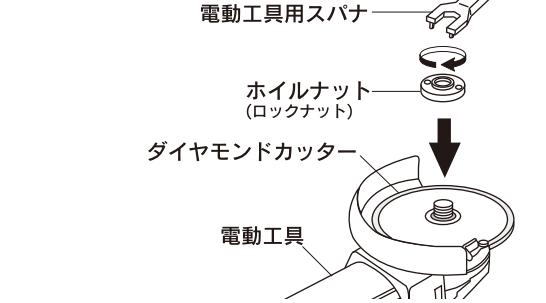
②ダイヤモンドカッターをスピンドルに差し込み、ホイルワッシャ(インナーフランジ)の凸部にダイヤモンドカッターをはめ込みます。



*この時、ホイルワッシャ(インナーフランジ)の凸部とダイヤモンドカッターの穴サイズが合わない場合は、付属のアダプターの凸部を上にした状態でホイルワッシャ(インナーフランジ)に取り付けてから、ダイヤモンドカッターを取り付けてください。



③電動工具のロックピンを押え、スピンドルが動かないように固定してから、ホイルナット(ロックナット)をはめ、「電動工具用スパナ」でしっかりと締め付けます。



ご使用の前に

《本品を取り付ける電動工具について》

危険

- 電動工具メーカー指定の保護カバー[ホイールガード](※1)を必ず、正しく取り付けてください。

警告

- 電動工具の、ダイヤモンドカッターを取り付けるスピンドルにガタ(※2)や振れ(※3)がないものをご使用ください。ガタや振れにより本品の取り付けが不十分になったり、異常振動(※4)でダイヤモンドカッターが破損して負傷したりする恐れがあります。
- 本品の最高使用回転数(※5)より低い無負荷回転数(※6)の電動工具に取り付けてください。
- 電動工具の銘版に表示されている定格出力以上では、絶対に使用しないでください。
切れ味の低下・異常過熱が発生したり、ダイヤモンドカッターが破損して負傷したりする恐れがあります。

《ダイヤモンドカッターについて》

警告

- 本品は塩ビパイプ・耐火パイプ [品番 6077-100,-125]、または磁器タイル・大理石・御影石 [品番 6078-100,-125] を切断するダイヤモンドカッターです。それ以外の用途には使用しないでください。

- 本品は乾式用(※7)ダイヤモンドカッターです。湿式用(※8)の電動工具では使用しないでください。

- ダイヤモンドカッターに曲がり(※9)・ひび割れ(※10)・欠け(※11)・異常摩耗(※12)などがないかを確認し、これらを発見した場合は絶対に使用しないでください。
加工する被削材が破損したり、ダイヤモンドカッターが破損し負傷する恐れがあります。

注意

- 不適用被削材に使用した場合、異常摩耗(※12)・切れ味不良・異常過熱などが発生する恐れがあります。また、ダイヤモンドカッターが破損し、飛散した破片で負傷する恐れがあります。

《作業環境について》

警告

- 作業場所は十分に明るくし、足場の安定した整理された環境下で作業を行ってください。予期せぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 身体の安全のために、使用する際は必ず保護メガネ・安全靴(滑り止めの付いた靴など)・保護帽・防じんマスク・耳栓などの保護具を着用してください。また、電動工具は使用中に高温になるため、必ず手袋(すべりにくいもの)を着用してください。

《作業環境について》

⚠ 警告

- 作業場所には、関係者以外近付けないでください。
- ご使用の際に火花を発生する場合があります。引火や爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
- だぶついた服装・ネクタイ・そで口の開いたもの・編み手袋などは身につけないでください。また、長髪は帽子やヘヤーカバーでおおってください。回転中のダイヤモンドカッターや電動工具の回転部に巻き込まれて、負傷する恐れがあります。

ご使用の際に

* 文中に(※)のついている語句は、右記の用語集をご参照ください。

⚠ 危険

- 回転中のダイヤモンドカッターに、絶対に触れないでください。負傷する危険があります。
- ダイヤモンドカッターの取付方法については、この取扱説明書と電動工具の取扱説明書の指示を必ず守り、確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、ダイヤモンドカッターがはずれるなどの予期せぬ事故が発生し、負傷する危険があります。
- ジグザグ切断・曲線切り・斜め切り【ガイド不使用】(※13)・コジリなどは絶対にしないでください。
これらの使用方法では加工する被削材が破損したり、ダイヤモンドカッターが破損し負傷する危険があります。
- 磁器タイル・大理石・御影石用[品番 6078-100,-125]を使用する際に、側面使用(※15)は絶対にしないでください。加工する被削材が破損したり、ダイヤモンドカッターが破損し負傷する危険があります。

⚠ 警告

- ダイヤモンドカッターを取り付ける際、および刃を交換する際は、電動工具のプラグをコンセントから抜いてください。
- 加工する被削材がしっかりと固定されていることをご確認ください。作業が不安定になり、予期せぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 電動工具は使用回転数に到達した後、1分間程無負荷回転し、異常音(※16)・異常振動が無いことをご確認ください。異常音・異常振動のまま使用すると、ダイヤモンドカッターが破損し、負傷する恐れがあります。
- 無負荷回転後異常がなければ、試し切断(※17)を行ってください。ダイヤモンドカッターの刃部が均等にあたらない場合は、刃の交換を行ってください。
- 切断中に異常音(※16)・異常振動が生じた場合は、直ちに作業を中止してください。そのまま使用した場合、加工する被削材が破損したり、ダイヤモンドカッターが破損し負傷する恐れがあります。
- 本品は乾式用(※7)ダイヤモンドカッターです。過熱を防ぐために長時間の連続使用はお避けください。また、本品に水をかけるなどの使用はしないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。
- 作業中に、ダイヤモンドカッターに衝撃を与えないでください。加工する被削材が破損したり、ダイヤモンドカッターが破損し負傷する恐れがあります。

⚠ 警告

- 使用後はすみやかに電動工具の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。不意に起動し、負傷する恐れがあります。

⚠ 注意

- 使用直後のダイヤモンドカッターは高温になっている場合があります。手などを触れないでください。

<留意事項>

- * ダイヤモンドカッターが冷えてから、ダイヤモンドカッターに曲がり(※9)・ひび割れ(※10)・欠け(※11)の傷がないことをご確認ください。
- * ダイヤモンドカッターは、落下や衝撃が加わることの無い場所に保管してください。

用語集

- ※ 1, 保護カバー [ホイールガード] : ダイヤモンドカッターが回転中に破損した際、飛散する破片から使用者を守るために覆い。使用者が回転中のダイヤモンドカッターに接触して負傷するのを防ぐ役目も持つ。
- ※ 2, ガタ : ホイルナット(ロックナット)と電動工具の取り付け部のネジが確実にかみ合っておらず、それによってがたつきを生じること。
- ※ 3, 振れ : ダイヤモンドカッターを電動工具に取り付けた際の、ダイヤモンドカッターの外周および側面の振れ。
- ※ 4, 異常振動 : 通常回転時の一定の振動とは異なり、不規則に揺れ動くこと。
- ※ 5, 最高使用回転数 : 無負荷時の回転数も含めて、ダイヤモンドカッターの回転数の限界を示す値。

<本品の最高使用回転数>

刃部外径 100ミリ [品番 6077-100, 6078-100] : 14500rpm
刃部外径 125ミリ [品番 6077-125, 6078-125] : 12200rpm

- ※ 6, 無負荷回転数 : ダイヤモンドカッターを取り付けて空回転させたときの回転数。

- ※ 7, 乾式用 : 加工時に冷却水をかけずに使用するもの。
- ※ 8, 湿式用 : 加工時に冷却水をかけながら使用するもの。
- ※ 9, 曲がり : ダイヤモンドカッターが平行、平面状態でないこと。
- ※ 10, ひび割れ : 刃部にさけ目や割れ目があること。
- ※ 11, 欠け : 刃部に部分的に欠損があること。
- ※ 12, 異常摩耗 : 刃部の側面の摩耗が外周の摩耗より大きく刃部の厚さが細る場合、あるいは両側面の形状が明らかに異なる場合の摩耗。
- ※ 13, 斜め切り : ガイドを使わずにダイヤモンドカッターを傾けて切り込む切断方法。
- ※ 14, コジリ : 被削材の表面をえぐるようにして、ダイヤモンドカッターを押し当てる。
- ※ 15, 側面使用 : ダイヤモンドカッターの側面を被削材に押し当てて研削すること。
- ※ 16, 異常音 : 通常回転数時の一定の音とは異なり、高い金属性のビビリ・振動音を発生すること。
- ※ 17, 試し切断 : ご使用の前に切り込みを少なくして、ダイヤモンドカッターが被削材に接触した感じを見ること。

株式会社 カクダイ

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124
東京支店 ☎(03)3552-0981 名古屋営業所 ☎(052)504-1551
大阪支店 ☎(06)6538-1121 広島営業所 ☎(082)278-2821
福岡支店 ☎(092)611-4611 盛岡出張所 ☎(019)632-3511
札幌営業所 ☎(011)704-1511 熊本出張所 ☎(096)370-1131
仙台営業所 ☎(022)239-8371 鹿児島出張所 ☎(099)250-2951
北陸営業所 ☎(076)433-2851

0800**